



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン 上場取引所 東
コード番号 9832 URL <https://www.autobacs.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 堀井 勇吾
問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 大木 勝仁 TEL 03-6219-8787
半期報告書提出予定日 2024年11月7日 配当支払開始予定日 2024年11月25日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	110,299	△1.4	2,510	△27.3	2,706	△20.4	1,638	△68.1
2024年3月期中間期	111,880	4.5	3,452	△1.5	3,398	△8.5	5,139	63.2

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 1,834百万円 (△64.3%) 2024年3月期中間期 5,146百万円 (10.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	20.98	—
2024年3月期中間期	65.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	205,799	128,291	62.3	1,634.66
2024年3月期	194,948	129,152	66.1	1,652.71

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 128,134百万円 2024年3月期 128,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,300	4.5	12,000	49.8	12,500	54.4	7,700	21.2	98.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	82,050,105株	2024年3月期	82,050,105株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,664,200株	2024年3月期	4,090,227株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	78,092,729株	2024年3月期中間期	77,952,668株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年11月1日に証券アナリスト・機関投資家向けにオンラインにて決算説明会を開催する予定です。なお、決算説明に関する資料等につきましては、当社ホームページに掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、ウクライナおよび中東情勢の長期化や物価高による個人消費の低迷が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の自動車関連業界の動向といたしましては、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により新車販売台数は減少いたしました。中古車登録台数は前年を上回る水準へ回復いたしました。カー用品関連においては、物価上昇の影響もあり依然として厳しい市場環境におかれております。

このような環境下において、当社グループは、お客様にとっての「モビリティライフのインフラ」をグローバルで目指し、2024中期経営計画「Accelerating Towards Excellence」に基づき、「タッチポイントの創出」「商品・ソリューションの開発と供給」「新たな事業ドメインの設定」を戦略骨子とした各種施策を推進しております。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高1,102億99百万円(前年同期比1.4%減少)、売上総利益386億7百万円(同3.1%増加)、販売費及び一般管理費360億97百万円(同6.2%増加)、営業利益25億10百万円(同27.3%減少)、経常利益27億6百万円(同20.4%減少)、親会社株主に帰属する中間純利益16億38百万円(同68.1%減少)となりました。なお、前中間連結会計期間ではBMW/MINI正規ディーラー事業を行う連結子会社2社の事業譲渡に伴う特別利益39億71百万円を計上しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

[オートバックス事業]

オートバックス事業の売上高は892億90百万円(前年同期比2.9%増加)、セグメント利益は78億80百万円(同1.5%増加)となりました。

国内オートバックスチェーン(フランチャイズ加盟法人店舗を含む)の全業態の売上高は、前年同期比で既存店が3.5%の増加、全店が3.7%の増加となりました。

国内オートバックスチェーンでは、猛暑や外出需要の増加を背景に、タイヤ・オイル・バッテリーなどのメンテナンス関連商品が伸長いたしました。また、これらの商品に伴うサービス工賃も好調に推移いたしました。

プライベートブランドについては、自信をもっておすすめできる価値ある商品の開発・販売を推進しております。また、「AQ.(オートバックスクオリティ)」から低価格で高品質なオリジナルピットサービス「AQ.ピットメニュー」の販売を開始いたしました。

なお、2024年8月より、オートバックスグループの対象店舗で共通ポイントサービス「楽天ポイントカード」が利用可能となりました。

車検・整備については、アプリからのピット作業のWeb予約が定着しつつあり、公式アプリからのピット作業予約件数が前年同期比22.8%増加いたしました。車検実施台数は、車検対象車両台数の減少を背景に、前年同期比2.6%減少の約31万8千台となりました。

車販売については、中古車の単価上昇や買取台数の増加を背景にオークションへの販売が好調に推移した一方で、新車販売台数は前年を下回りました。これにより、国内オートバックスチェーンにおける総販売台数は前年同期比4.2%減少の約14千8百台、総販売金額は前年同期比4.8%増加の176億66百万円となりました。

国内における出退店は、新規出店が11店舗、退店が3店舗あり、2024年3月末の1,003店舗(内、併設店およびインショップは414店舗)から1,011店舗(内、併設店およびインショップは414店舗)となりました。なお、2025年3月期の期首より併設店およびインショップを含んだ店舗数に変更し記載しております。

海外小売については、フランスにおいて前期に2店舗を閉店した影響で売上が減少いたしました。シンガポールにおいては、COE(車両購入権)の価格上昇に伴い、既存車のメンテナンス需要拡大を取り込み、ピットサービスが好調に推移いたしました。

海外における出退店は、新規出店が22店舗あり、2024年3月末の109店舗から131店舗となりました。

[コンシューマ事業]

コンシューマ事業における売上高は102億23百万円(前年同期比25.5%減少)、セグメント損失は8億33百万円(前年同期は6億34百万円のセグメント損失)となりました。

ディーラーにおいては、AudiおよびBYDの正規ディーラーを運営する子会社の中古車販売が好調に推移いたしました。前期にBMW/MINI正規ディーラー事業を行う子会社2社を譲渡した影響で、前年同期比では売上が減少いたしました。また、社用車のメンテナンスやカー用品などの法人一括払いが可能となる「オートバックス法人会員制度」への加入件数が順調に増加いたしました。

なお、2024年8月30日付で、自社ローン型中古車販売事業を行う会社を連結子会社化しております。加えて、2024年10月1日付で、当社の連結子会社である株式会社オートバックス・ディーラーグループ・ホールディングスがHonda正規ディーラーを運営する会社および電気設備工事・施工・管理を行う会社を連結子会社化しております。

[ホールセール事業]

ホールセール事業における売上高は160億70百万円(前年同期比4.9%減少)、セグメント損失は1億6百万円(前年同期は1億37百万円のセグメント利益)となりました。

車両のメンテナンス需要を背景に、エンジンオイル等の卸売を行う子会社およびホイールの卸売を行う子会社が堅調に推移いたしました。また、日産自動車株式会社との協業にも注力しており、車種専用アイテムの企画開発・販売を進めております。加えて、2024年8月に、ガレージライフを提案するプライベートブランド「GORDON MILLER」の新レーベル「GORDON MILLER WORKS UTILITY」から、軽トラックをベースとした車両「GMLWU T-01」を発売いたしました。

海外卸売においては、国内からの輸出入が大幅に減少し、売上が減少いたしました。マレーシアにおいては、オートライズディーラー認定店が増加いたしました。オーストラリアにおいては、インフレや金利上昇を背景に、消費者の購買意欲が低下したことなどにより売上が減少いたしました。中国においては、日本国内への輸出が拡大し、売上が増加いたしました。

[拡張事業]

拡張事業における売上高は44億64百万円(前年同期比10.1%増加)、セグメント利益は3億4百万円(同52.1%増加)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

財政状態は、次のとおりであります。

当中間連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ108億50百万円増加し、2,057億99百万円となりました。主に未収入金が減少した一方、受取手形及び売掛金および商品が増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ117億12百万円増加し、775億8百万円となりました。主に支払手形及び買掛金が減少した一方、長期借入金および短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8億61百万円減少し、1,282億91百万円となりました。主に親会社株主に帰属する中間純利益および株式交換に伴う自己株式の処分による増加があった一方、利益剰余金の配当による減少などによるものです。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,297	33,251
受取手形及び売掛金	22,383	28,428
商品	22,635	26,214
未収入金	26,047	20,340
その他	9,859	9,532
貸倒引当金	△31	△65
流動資産合計	112,191	117,701
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,576	25,087
その他(純額)	23,676	26,119
有形固定資産合計	48,252	51,207
無形固定資産		
のれん	1,080	3,243
その他	6,683	7,312
無形固定資産合計	7,763	10,555
投資その他の資産		
差入保証金	11,638	11,874
その他	15,116	14,474
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	26,741	26,335
固定資産合計	82,757	88,098
資産合計	194,948	205,799
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,050	17,953
短期借入金	11	6,427
未払金	15,200	13,685
未払法人税等	2,109	712
その他	9,612	11,401
流動負債合計	48,984	50,180
固定負債		
社債	—	272
長期借入金	6,023	16,214
引当金	7	7
退職給付に係る負債	256	266
資産除去債務	2,691	3,177
その他	7,832	7,390
固定負債合計	16,812	27,328
負債合計	65,796	77,508

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,218	34,138
利益剰余金	63,670	62,120
自己株式	△6,970	△6,243
株主資本合計	124,917	124,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,124	2,278
為替換算調整勘定	1,803	1,840
その他の包括利益累計額合計	3,928	4,119
非支配株主持分	307	156
純資産合計	129,152	128,291
負債純資産合計	194,948	205,799

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	111,880	110,299
売上原価	74,437	71,692
売上総利益	37,442	38,607
販売費及び一般管理費	33,990	36,097
営業利益	3,452	2,510
営業外収益		
受取利息	44	57
受取配当金	58	70
持分法による投資利益	69	127
情報機器賃貸料	414	346
その他	557	463
営業外収益合計	1,144	1,066
営業外費用		
支払利息	35	30
情報機器賃貸費用	936	426
固定資産除却損	22	31
その他	204	382
営業外費用合計	1,198	870
経常利益	3,398	2,706
特別利益		
事業譲渡益	3,971	—
負ののれん発生益	—	461
特別利益合計	3,971	461
特別損失		
減損損失	89	74
段階取得に係る差損	—	132
特別損失合計	89	207
税金等調整前中間純利益	7,280	2,961
法人税、住民税及び事業税	1,896	446
法人税等調整額	243	871
法人税等合計	2,139	1,317
中間純利益	5,141	1,643
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	5,139	1,638
非支配株主に帰属する中間純利益	1	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△376	155
為替換算調整勘定	304	28
持分法適用会社に対する持分相当額	77	8
その他の包括利益合計	5	191
中間包括利益	5,146	1,834
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,127	1,829
非支配株主に係る中間包括利益	19	5

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結損 益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	オートバ ックス事業	コンシュー マ事業	ホールセー ル事業	拡張事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	84,433	13,638	11,901	666	110,639	—	110,639
その他の収益	43	—	—	1,197	1,240	—	1,240
外部顧客への売上高	84,476	13,638	11,901	1,863	111,880	—	111,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,327	75	5,005	2,190	9,598	△9,598	—
計	86,804	13,714	16,906	4,053	121,479	△9,598	111,880
セグメント利益又は 損失(△)	7,763	△634	137	200	7,466	△4,014	3,452

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,014百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主にコーポレートの一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結損 益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	オートバ ックス事業	コンシュー マ事業	ホールセー ル事業	拡張事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	86,922	10,164	11,320	705	109,112	—	109,112
その他の収益	—	—	—	1,187	1,187	—	1,187
外部顧客への売上高	86,922	10,164	11,320	1,892	110,299	—	110,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,367	59	4,749	2,572	9,748	△9,748	—
計	89,290	10,223	16,070	4,464	120,048	△9,748	110,299
セグメント利益又は 損失(△)	7,880	△833	△106	304	7,245	△4,734	2,510

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,734百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主にコーポレートの一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2024年5月に発表した2024中期経営計画「Accelerating Towards Excellence」において、お客様にとっての「モビリティライフのインフラ」をグローバルで目指すことを新たな方向性に掲げ、当社が最も得意とする小売りと卸売りの2軸に集中し強化する体制への変更を進めております。

新たな方向性に沿った取り組みを速やかに開始し戦略実行のスピードアップを図るために、当中間連結会計期間より、従来、「国内オートバックス事業」、「海外事業」、「ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業」および「その他の事業」に区分したセグメントを、小売りと卸売りを軸とした報告セグメントに変更いたしました。

国内外のオートバックス店舗の小売りやオートバックス店舗への卸売りを行う「オートバックス事業」、オートバックス事業以外的小売りとして、カー用品のネット販売や新車および中古車の買取・販売を行う「コンシューマ事業」、オートバックス事業以外卸売りを、ライフスタイルブランドをはじめとするプライベートブランド等を卸売りする「ホールセール事業」およびファイナンス、物件・立地開発、EVソリューション等の周辺事業を行う「拡張事業」の4区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「コンシューマ事業」セグメントにおいて、オトロンカーズ株式会社の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては2,127百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

取得による企業結合(株式会社東葛ホールディングスに対する公開買付け)

当社の連結子会社である株式会社オートバックス・ディーラーグループ・ホールディングスは、2024年8月8日開催の取締役会において、株式会社東葛ホールディングス(以下「東葛」といいます。)の普通株式及び新株予約権を金融商品取引法に基づく公開買付けにより取得することを決議し、2024年8月9日より公開買付けを実施していましたが、公開買付けが2024年9月24日をもって終了いたしました。

公開買付けの結果、2024年10月1日付(本公開買付けの決済の開始日)で、東葛は当社の連結子会社となり、これに伴い、東葛の連結子会社3社も当社の連結子会社となります。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社東葛ホールディングス

事業の内容：自動車販売関連事業、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業等

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、2023年5月に、2033年3月期の連結売上高5,000億円の達成を目指す長期ビジョン「Beyond AUTOBACS Vision 2032」を発表し、また、当該長期ビジョンの達成に向け、2024年5月に、2025年3月期から2027年3月期の3ヵ年の2024中期経営計画「Accelerating Towards Excellence」を発表しております。

当社グループは、様々な事業領域に挑戦しており、国内の一般消費者に対して自動車の販売及びサービスを提供するディーラー事業を展開しております。

当該事業は、事業戦略の重要な位置付けにあり、今後も積極的に投資を行い、事業拡大を図っていくべき事業領域と位置付けております。

東葛が当社グループに加わることで、当社グループの既存事業とさまざまなシナジーを生み出すと判断いたしました。

(3) 企業結合日

2024年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

89.02%(2024年10月31日時点)

なお、東葛の完全子会社化を目的としているため、今後、株式併合の手続きを行い、議決権比率を100%とする予定であります。

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

株式会社オートバックス・ディーラーグループ・ホールディングスが現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳(2024年10月31日時点)

取得の対価	現金	3,671百万円
取得原価		3,671百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。